

居宅介護支援事業所の現状

2022.7.11 (月)

くにみケアプランセンター
庵原 眞里

【当事業所の紹介】

社会福祉法人 国見会 (1966 年設立)

法人施設 : 救護施設 東山荘

特別養護老人ホーム国見苑 (長期 58 名 短期 20 名)

国見地域包括支援センター (第一中学校区担当)

くにみケアプランセンター

主任介護支援専門員 3 名

算定加算: 居宅介護支援 II (ケアマネジャー1 人当たりの取り扱い件数 45 件未満)

特定事業所加算 III

担当地域 仙台市内

地域包括支援センターの担当圏域は東北大学病院、仙台厚生病院が近く、精神科
病院 2 ヶ所、認知症専門病院 1 ヶ所がある。また、開業医も多い地域

【令和 3 年度の実績状況】

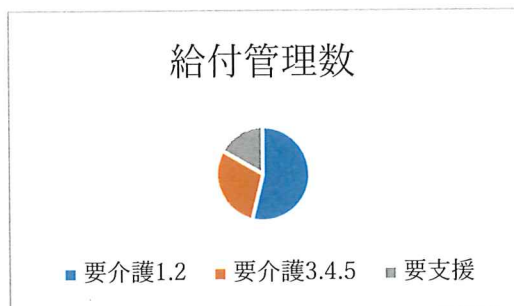
新規 72 名

終了者 51 名 (逝去 14 名 GH: 4 名 特養: 7 名 有料・老健: 21 名)

年度別 新規・終了

	新規	終了
平成 30 年度	36	37
令和元年度	45	32
令和 2 年度	38	35
令和 3 年度	72	51

給付管理数 1234 件/年（月平均 102.8 件） 要介護 1.2：799 名 要介護 3.4.5：435 名
介護予防受託 249 件/年



年度別 加算算定状況

	初回加算	入院時連携加算Ⅰ	入院時連携加算Ⅱ	退院退所加算ⅠⅠ	退院退所加算ⅠⅡ	退院退所加算ⅡⅠ	退院退所加算ⅡⅡ	退院退所加算Ⅲ	通院時連携加算
平成30年度	32	5	5	10	9	1	1	1	
令和元年度	32	8	0	11	4	2	1	1	
令和2年度	33	5	1	4	2	0	2	0	
令和3年度	67	11	5	8	1	2	0	0	24

- ・令和3年度より居宅介護支援Ⅱを算定し担当件数が増えた。(ICTの活用)
- ・通院時連携加算は令和3年度より新設
- ・コロナ禍になり、入院者との面会が難しくなり、退院退所加算の算定が難しくなった。
- ・新規利用者でも、本人と会うことなく在宅の準備をする事が多くなった。その分、電話のやり取りが多くなった。

(サービス事業所や、福祉用具の選定に苦慮する)

- ・在宅生活の準備期間が短く、家族の心の準備が不十分なまま在宅介護が始まる事がある。
- ・看取り加算の算定をしていないが、在宅での看取りは年々増加傾向で担当期間が短い。
- ・介護認定の主治医意見書に実際の生活状況が反映されないため、通院に同行して説明しなければならない場合もある。
- ・入院時、退院時のように、通院時に医師と共有できるツール(情報シート)があると効率が良いと思う。

令和4年6月現在のケアプランに位置付けている医療系サービスの状況

	I ケアマネ	M ケアマネ	Y ケアマネ
訪問診療	6	10	5
訪問歯科	6	3	5
訪問看護	9 (4)	6 (3)	11 (4)
訪問リハビリ	7 (3)	1	0
薬剤師	4	7	4
栄養士	0	0	0

※うち、() は医療保険

【医療系サービスで感じる事】

- ・退院時などに病院より紹介された医師と利用者、家族が連携を図れない場合にケアマネとしてどう対処していいか悩む事がある。
 - ・サービス担当者会議に、一度に利用者に関わる関係者の参加が難しい。
 - ・利用者家族の話から、訪問診療のだいたいの時間は設定されているが、時として訪問時間が不規則で待つ時間が長い事もある。そのような時は、ご一報いただくと家族も安心感に繋がるのではないかと考える。
 - ・訪問診療医やリハビリ、看護師をケアマネ側で探す時、どこにすれば良いか悩むことがある。 医師の専門分野や看護師の専門分野などの情報を知っておく必要がある。
- 利用者が入院中であれば、病院からの提案があると良い。(複数事業所の提案が必要)